

健康と光線

発行所

〒153
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京(03)
793-5281
712-5322

理論より

大切なこと

サナモア光線療法は、太陽光線を再現し、保健、治病を目的に使用します。その効果は多くの治験例から確かですが、何故に有効であるかという理論的根拠は、今日においても未だ一部を除くと未熟なことを卒直に認めなければなりません。その主因は、光線の働きが人智を越えてあまりに神秘的なことが理由でしょう。しかし、自然の恩恵を利用した光線療法の場合には、理論より実際の効果を重視してもよいように思います。

これまでの医学における治療法の進歩のあとを尋ねると、昔は先ず実際の効果から出発し、理論的な研究は遅れるのが常でした。ところが、近代になって理論的研究を先にして実験を後にする傾向が顕著になった結果、医学界でも理論優先の考え方が

巾をきかし、理論的根拠が薄弱な治療法は軽んじられるようになりました。光線療法のみならず色々な医業類似行為が、現代

確定されていない治療法でも、効果が確かで副作用もないのならば積極的に利用すべきでしょう。

サナモア光線で

自然の恵みを楽しむ

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

医学の研究者から一歩も二歩も低く見られるのもこのためです。

正木 不如丘先生

しかし、光線の効果、例えば殺菌作用やクル病の化骨促進や新生児重症黄疸の治療効果は、いづれも理論は遅れて研究されたのです。反面、理論を優先した治療法が必ず有効かといえは決してそんなことはありません。要するに、理論的に治癒機転が

わが国における、臨床医学への光線の応用の歴史を辿る時、正木 不如丘先生の名を忘れることは出来ません。先生は、大正十五年に信州富士見高原に開院した富士見高原療養所において、本格的な日光療法を結核を始め各種疾患に行ないました。ここ

は、堀 辰雄の「風立ちぬ」の舞台としても有名です。

先生が書き残した著書を読むと、医学界の無理解や偏見に抗して、日光療法の効果を声を大にして強調しています。その一節を引用させていただきますと

「科学文明の著しい進化のため、人類は何時ともなく、太陽の力をわするに至りました。が今日に於ても太陽は尚、人類のつけあがった驕慢心をこらす事なく、人類のために美しい光線を送って居ります。支払はずして最も高価なエナジーを、地球上の生物が利用するのを、太陽は静かに見つめて居ります。

自然と同化

事をしめじみ体験致しました。」

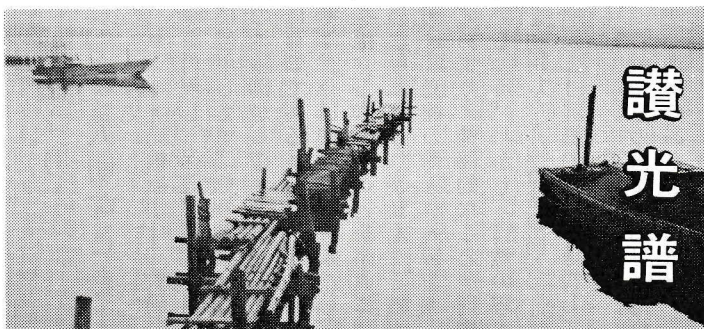
私たちの大昔の祖先は、裸体で直接屋外の日光の恵みを受けたため、今よりずっと病人が少なく健康であった事実を鑑みて、私たちは自然に同化して自然から賦与された抵抗力を低下させることなく、自然が賦与した程度まで、言い換えれば、私たちの祖先が持っていた抵抗力を身につけ、予防に治病に役立てなければなりません。

現代の高度に文明化した社会にあって、サナモア光線療法は自然に同化する治療法であり、自然の心を最もよく体得した治療法なのです。サナモア光線療法は、光線浴の点からみれば祖先の生活に近づくことで、即ち自然人になることなのです。それ故にサナモア光線療法は、合理的かつ科学的な自然療法なのであります。現在、光線的作用の大半を理論的に説明出来ず、その根拠が曖昧であっても、決して根も葉もない迷信でもなければまやかしてもありません。なによりも、サナモアを使えば、屋内に居て、何時でも好きな時に、自然の恵みを楽しむことができます。



「清水港」

宇都宮義真撮影

讚
光
譜

カーボン(炭素)

電極の応用

カーボン(炭素)の同素体は、次の四種に区分される。

- (1) ダイヤモンド(八面体)
- (2) 黒鉛(六方晶系)
- (3) 硬質炭(立方晶系)
- (4) 無煙炭類(方形)

このうち、宝石の王様と云われるダイヤモンドを除いた(2)と(4)を、一般にカーボンと呼んでいる。

カーボンは、大体外觀があまりよくないし、周辺を汚すために取り扱いも難しく、ブラック・アート(Black art)と称されて、昔は研究も閑却された観がある。

このカーボン電極を始めて工業用に用いたのは、ハンフリー・ダビー(一八〇〇年)である。彼はカーボンが電気を通し、熱膨脹率が小さい上、耐熱温度があらゆる物質中最も高く、摂氏三〇〇〇度の高温で燃焼する特性を利用して、工業用カーボンを作った。

デンマークのニールス・フィゼンは、カーボン電極の特性を利用すれば、太陽光線のすべ

ての波長をカバーできることから、一八八三年に医療用のカーボン灯を発明し、今日の光線療法的基础を築いたのである。

医療用カーボンの作り方

カーボンには、医療用の外に、

医療用カーボン
(炭素棒)について

宇都宮 義真

映写用、撮影用、青写真用、顕微鏡用、探照灯用等いろいろな用途があり、その目的によって光の内容も異なるのである。

医療用カーボンは、芯に硅酸カリウム、セリウム、鉄、ニッケル、アルミニウム、コバル

ト、バリウム、チタニウム、ストロンチウム、リチウム等の化合物を入れて必要とする波長を得るのであるが、これによって長足の進歩をなし、次第に応用範囲も広がったのである。

国産医療用カーボン

カーボン

わが国においては、以前は医療用カーボンは全部輸入に仰いでいたのである。しかし、最高品質の目的、用途に合致した医療用カーボンを得るには国産化しかないと考えた東京光線療法研究所の宇都宮所長(故人)は、わが国カーボン工業界に最古の歴史と最高の技術とを誇る摂斐川電気工業会社(現、イビデン)に、医療用カーボンの国産化を依頼した。

△

摂斐川電気工業会社では、技師長の永井氏(故人)を中心に、宇都宮所長の助言を得て苦心の結果、昭和十三年に初の国産医療用カーボンを完成したのである。なお、当初は八種類のカーボンを製造したが、研究の結果、現在の四種類に統合したのである。

カーボンの使い方

医療用カーボンの正しい使用法は、病状によって適当な波長を最も多く含んだカーボンを選定すべきであって、始めから何病気にはどのカーボンでなければならぬということはない。従って、いやくも医療用カーボンと言う以上は、使用目的に応じて必要な波長を豊富に放射するカーボンでなければならぬ。粗悪品は素人が一目見ても分るように、表面がザラザラして、使用するとカスが多く、芯だけが燃え残ったりするが、それ以上に大切なことは、光線療法に必要な波長を放射しないので効果が劣るのである。

現在、東京光線療法研究所がイビデンに製造を委託している医療用カーボン・サナモアは、目的、用途に応じられるように、標準光線(サナモアA) 赤外線(サナモアB) 紫外線(サナモアC) 可視線(サナモアD)があり、これらを適宜組み合せて使用するのである。

昭和二十六年一月二十五日発行

「健康と光線」

— 医療用炭素棒について —
より引用した。

(既) 一九三〇年代に、光線、特に紫外線照射の糖代謝へ及ぼす影響が検討され、次の如く報告されている。

まず、リップマン、フェルカーらは、健康者に於ては殆んど影響なく、血糖降下作用も認めないと報告した。然るに、カロス・デフナーやロスマンは、糖尿病患者で病的に血糖値が上昇した場合に、その値を下降させる効果のあることを見出し、ロスマンによると最高50%下降したという。デシユンデンはこの作用機序はインシュリンの生成によると述べた。

これら先達の研究報告からも、糖尿病の治療に光線療法を応用し得ることを知るが、近年の研究もまた、先人の業績を裏けている。

(前) 号に、ビタミンDはホルモンとして作用し、カルシウム代謝のみならず、全身の諸臓器の機能とも深く係っていることを、放射性同位元素で標識した活性型ビタミンDの組織内への取り込みから立証したストウンらの研究報告を引用した際に、脾臓ランゲルハンス島のβ細胞が標的器官に数えられることを述べた。このβ細胞は、糖代謝を司るインシュリンを分泌することから、ビタミンDが糖代謝に何らかの影響を及ぼしている可能性を示唆しているが、この問題について述べる前に、周辺の知識を整理する意味で補足しておく。

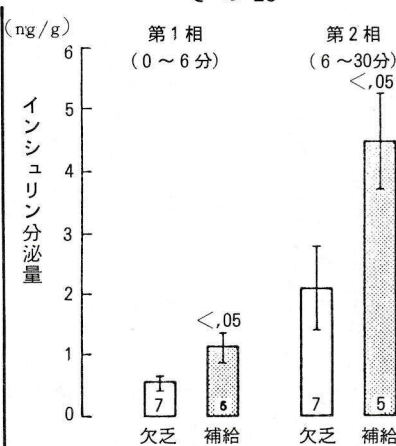
(先) ず脾臓の機能から説明しよう。

脾臓は、外分泌として多くの消化酵素を膵管を通して12指腸に分泌する一方、脾臓のランゲルハンス島から直接血中に脾臓ホルモンを分泌する内分泌機能を持つ。この脾臓ホルモンには、α細胞から分泌されるグルカゴンと、β細胞から分泌されるインシュリンがあり、互に相反する作用を示す。

即ち、グルカゴンは肝に貯蔵されたグリコーゲンを必要に応じて動員して血糖を上昇させるように働く。従って、グルカゴンの分泌は血糖値が低下すると亢進し、上昇すると抑制される。

応用光線療法学

□ ビタミンDの作用 □ その 23



ビタミンD-欠乏およびD-補給
ラットのインシュリン分泌量
(グルコース負荷脾臓灌流実験)

医学博士

宇都宮 光明

の働きが十分でないために、ブドウ糖の血中濃度が上昇して高血糖を来し、腎臓の糖排泄域値を越える結果、尿糖陽性となる。そして、代謝障害により気付かないうちに重大な合併症を起こす疾患」と定義できる。事実、糖尿病管理の要諦は合併症の予防に尽きると言っても過言でない。

ところで、糖尿病の合併症として最も重要な変化は、特に細い。 (近) 年、脾臓ランゲルハンス島β細胞に、ビタミンDの受容

これに対し、インシュリンは血中のブドウ糖を組織内へ移行し利用し易くするために血糖降下作用を持つ。それ故に、インシュリンの働きが悪いとブドウ糖を利用できず高血糖を引き起こし、糖尿病と診断される羽目に陥るのである。

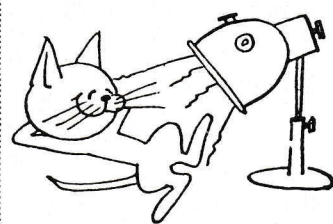
(言) うまでもなく、糖代謝障害のうち大半を占めるのが糖尿病である。ここで糖尿病について簡略に記述する。

状態では見出されないが、カルシウムの摂取量が減少すると増加する。このことから、ビタミンDが合成を促し、カルシウムの吸収機構を支配していることと見なされている。

(ノ) マンらは、紫外線を遮った環境で乳離したラットを、ビタミンD欠乏食で12週間以上飼育して、ビタミンD欠乏ラットを作成した。その上で2群に分け、一群は特に処置せずにそのままビタミンD欠乏動物として使い、他の一群は実験前72、48、24時間前にビタミンDを各二〇〇国際単位(五μg)投与して、ビタミンD補給動物として実験に供した。なおビタミンDで前処置を行うことによって、血清ビタミンD値は〇・五ng/ml以下が二六ng/mlになり、血清カルシウム値は約四mg/dlから約六mg/dlに有意に上昇したが、血清マグネシウム値、血清リン値には有意差はなかった。

(実) 験は、五・五ミリモルのブドウ糖と一〇ミリモルのアルギニン添加した灌流液を腸骨動脈より注入し、脾臓を灌流させて門脈より回収して、経時的にインシュリンとグルカゴンの値の変動を調べた。

(次号へ続く)



—治療例報告—

☆全身打撲症 頭蓋内血腫

(交通事故による)

症例 40才 女性
症状 昨年の9月15日、自動車で行中に高速道路の側道から本線に入る合流地点で、トラックの全長の長さに気付かず、後方側面に衝突した。衝突した時、シートベルトを装着していなかったため、全身を強く打ち、そのショックで意識を失い、救急車で兵庫県済生会病院へ運ばれた。

病院では直ちに応急処置をしてから入院させたが、入院した日は敬老の日で休日、翌16日も振替休日だった関係で、当直医の治療を受けた。

入院直後からサナモア光線治療を是非とも併用したいと願ったところ、病院側が許可してくれただけで、16日の午後4時に治療を始めた。

その時点での状態は、額から顔面を強く打ったため、両眼とも紫色に腫れていたが、中でも

左の目は開けられなかった。また、腰や背中やあちこち痛がっていた。

9月17日に精密検査が行なわれたが、担当医の話では、左頭部、額より3センチの深さに、血のかたまり(血腫)があると言われた。また、患者は頭痛を訴え、両眼のまわりや額に触ると酷く痛がった。ただし、吐き気や嘔吐はなく、麻痺もなく、幸いにして骨折もなかった。

療法経過 初めはBカーボンにて、両眼部は一号集光器を使って二十分、額の傷口は一号集光器で十分、一号集光器で十分、頭部は開放で十分、頭の打った所に十分、一日に四〜五回照射、他に全身を打撲していたので、腹、膝、足裏、腰、背に各五分、一日一回照射した。その結果、三日目には自覚的にも痛みが改善したので、四日目からB Dカーボンに変えた。

治療開始五日目に、再度レントゲン検査があり、頭の血のかたまりは少し小さくなったと言われ、歩行が許された。一週間後には、目の回りの皮下出血のあとが紫色になっていたのも薄くなり喜んでいたら、急に左の目の上が黒紫色、玉子大に腫れ上ったので、患部にB Dカーボンで一日四〜五回照射した。

八日目のレントゲン所見では、血腫は段々と小さくなっており、腰や背中の痛みもとれ体の調子はすこぶる良い。

十日目頃には、左の目の上の腫れも引き、色も薄くなり、十三日目には退院した。

以来、二カ月間、週一回通院して、完治と言われたが、後遺症の予防と健康のため、現在も毎日家庭で光線治療をしている(退院時、外科部長が「光線が役立った」と言ってくださいます)。病院内での光線治療を許可してくださったことに感謝しています。

神戸市 ウエノ光線療法
上野 貞氏報告
TEL 〇七八一三三二一三五八

愛用者だより

☆虫歯

福岡県嘉穂郡 犬丸幸雄

歯科で三本の虫歯を治療しましたが、神経を取っても歯が浮いて痛く、アゴを押えるときかなり強い痛みを感じました。

サナモアで痛みを取ろうと、早速A・Bカーボンで照射、三日間ほど痛みは和らぎ、

☆花粉症

広島市 秋元純子

毎年春になると眼が真っ赤に充血して涙が出、おまけに鼻水に悩まされて来ました。しかし、今年はどう

☆右肘関節硬直

(右肘関節骨折後遺症)

症例 17才 男性
症状 右肘関節を骨折したため、肘を直角に曲げた状態で二カ月以上ギブス固定した。引き

続きリハビリのためマッサージを四十日位したが、直角の状態から十度程伸びたものの、その後うまく伸びないため、リハビリの効果を上げる補助手段の一環として光線治療を希望して来所した。

来所時の症状は、肘関節、手関節とも硬直していて、特に肘関節の関節可動域は著しく狭まっており、九十度〜百度に曲り、伸ばそうとしても痛くて伸ばせなかった。また、筋肉も萎縮して細く、筋力も衰えていた。

療法経過 A A、A B、B Cカーボンを二日毎に交互に使い、肘関節とその周辺、上腕部内側、前腕部内側、手関節に移動しながら気持ちのよい間、熱く感じるまで、約二時間照射したが、途中で数回照射を止めて、痛み

☆尿管結石

症例 47才 女性
症状 激しい差し込む下腹部痛に加えて、排尿時に肉眼で分る血尿があり、病院で精査の結果、尿管結石と診断されたため、心配だからと言って来所された。

療法経過 A Bカーボンを使い、肝門十分、下腹部六十分、足裏十五分、膝五分、後頭部五分、腸骨部左右から各十五分照射した。

光線治療中、症状、尿所見には起状があったが、何時とも検査をうけた時には石は認められなかった。この時治療を終了した。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四 七三二 五〇六七

信じて続けよ

古代人が太陽を神と崇め、太陽光線の治病作用を信じたのは、理屈でなく、むしろ信仰に近いものでしょう。

現代は、当時と比べて、光線に関する研究は格段の進歩を遂げ、ある程度の理論的裏付けもできました。しかし、なお光線の全貌は神秘のベールに覆われています。でも、その霊妙な作用の恩恵に浴するには、光線を通じて浴びさえすればよいのです。すべての生命が、太陽によって生かされていることから分るように、食物を摂ることと同じように、光線を浴びなければならぬと信じなければなりません。

サナモアは、太陽光線と質的に同じスペクトルの電磁波を放射する、言わば人工の小型太陽です。このサナモアを上手に利用するには、「サナモアを信じて続ける」ことが必須の条件です。サナモアが何かに役に立つと信じられる人は、工夫を凝らし寸暇を割いても使いますし直ぐに止めたりしませんので、サナモアの効果が分り、益々信頼できますので、自ずと使い方にも

熟達します。反面、信じていない人に無理強いしても、御座成りにやって、「効かねえや!!」で終ってしまおうでしょう。「信じて続けよ」こそ、効果的に使う要諦です。

母乳は栄養欠乏食?

光線浴を忘れると、乳飲み子にとって完璧な栄養源と考えられていた母乳で育てられている乳児でも健康を損ない病気になるます。母乳にビタミンDが欠けているからです。

この事実
は、私たちに光線浴が不可欠の要素であることを端的に示しています。他にも例をあげるなら、地上で穫れるあらゆる食品に、私たちが必要とするビタミンDはありません。即ち、ビタミンDは光線浴で補う自然の成り立ちを理解し、実践躬行したければならないのです。冬の日照まりで、日光浴をさせて貰った

サナモアの
効果的利用法の原理

宝の持ち腐れにしないため!?

サナモアを使って良かったと喜んで下さる方がある反面、使ってみたが効かなかったと言う人もいます。それぞれ病名も、病気の程度も違いますので止むを得ない点もありますが、サナモアに対する信頼感、使い方の上手下手も大いに関係します。サナモアを効果的に使用するコツを修得して下さい。

赤ちゃんにとって、母乳は最も理想的な栄養源になりますが、光線浴をしなければ、ビタミンD欠乏食になるのです。
ところで、ビタミンDは光線が当たると出来ます。このように照射部位だけ起こる作用を直接作用または局所作用と言います。一方、ビタミンDは毛細血管で吸収されて全身を廻り、腸からのカルシウムの吸収、骨組織へのカルシウムの沈着などに関係しますが、このように遠隔部位に起こる作用を、間接作用または全身作用と言います。これらは相俟って作用しますが、別々に分けた方が理解し易いので、対比しながら具体的に説明しましょう。

直接作用

- (1) 光線の直接作用は、便宜的に主に近赤外線による局所循環の改善
(深部温熱作用による局所充血作用)
- (2) 主に紫外線による光化学作用
(光化学物質の生成)

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

に分けると便利です。その訳は、どちらの効果を期待するかによって照射法が違ってくるからです。近赤外線の働きは、深部温熱作用のため照射局所に認める充血による効果で、局所循環の改善が主要な役割を果たします。そして、この作用の著しい特徴は、照射量と効果との間に、互いに影響しあう相関関係がある

ことです。
例えば、鎮痛効果の場合、痛みが和らぐまで照射しますが、原因によっては、強い充血を起こし、その状態を持続させるために、照射時間を延ばしたり、二方向以上から照射したり、繰り返し照射したりする必要がありま。また、痛みが狭い範囲に局限していたら、集光器で照射野を狭くした方が効果的に使えます。

局所循環の改善に伴う効果を最大限に引き出すには、前述の如く照射法に工夫が要りますが、単に痛みだけでなく、極めて多くの病気に効果があります。極言すれば、「すべての病気で、患部に局所循環障害がある」のです。従って、経験を積み積むほどサナモアの応用範囲の広さが分ってくる筈です。

光化学作用の臨床面の応用は、一八八〇年にダウンスとブランドによって紫外線の殺菌作用が発見されたことに端を発します。次いで、ニールス・フィンゼンが、光線による皮膚紅斑の原因も光化学作用であることを発見したのですが、この点について補足します。

〈前頁より続く〉

デンマーク生まれのニールス・フィンゼンは、一八八三年にカーボン灯を発明し、これを使って、当時は治療法のなかった皮膚結核の治療に好成績を収め、一九〇三年にノーベルを授賞したことで有名ですが、彼を光線療法之父と呼ぶ理由は、ノーベル賞もさることながら、光線療法の基礎を築いたことにより来る紅斑は、光線の熱作用によるものとされていたのですが、照射直後に認め速やかに消失する熱性紅斑以外に熱を遮断しても一定の潜伏期を経て出現し比較的長期間持続し、色素沈着(日焼け)を残す紅斑が出来ることから、その成因ならびに意義が研究されていました。フィンゼンは、この紅斑の原因は、放射された紫外線を皮膚が吸収して光化学反応を起こし、光化学物質が形成される結果であり、この光化学物質を介して全身機能に關係すること、即ち次に述べる間接作用を明らかにしたのです。その結果、光線療法の実用範囲は一挙に広がったのです。

ところで光化学作用を期待してサナモアを使う場合の原則は、

数力所以上、例えば腹、背、腰、膝、足裏などに各々五十分、合計三十分前後、一日一回照射すれば、必要な光化学物質は、未だ未知のものも含めて、生成されると考えられていますので、それ以上の照射はやりません。勿論、照射時間を増やしても、身体には必要以上には作らない機構がありますので、多めにかけることは一向に構いません。

間接作用

サナモアの応用範囲が広いのは、間接作用に負うところが多です。光線の直接作用によって生成された光化学物質は、すべての生理機能に關係するからです。しかし、光線の間接作用の多くは、ビタミンDの骨作用を例に考えても分るように目に見えませんが、鎮痛効果や止痒効果などと違って自覚的に効き目が分りにくいので、本当に効いているのか疑問に思うかも知れませんが、この点は信じて貰うしかありません。光化学物質は全身を廻り、生理機能を調整しますので、健康面に益すると同時に、病人に対しては病気の治癒傾向を促して回復を速めるように作用します。換言すれば、毎

日サナモアを使うなら、身体の中で必要な薬が作られていると考えることも出来ます。これらのことは太陽と生命との深いかわりを思い起こせば、けだし当然のことでしょう。

サナモアを使って損はない

文明は私たちに多くのものを与えてくれました。しかし、文明によって失ったものも多々あります。その最たるものが自然であり、太陽光線を浴びる機会を奪ったことではないでしょうか。

今では光線の作用でビタミンDが出来ることは周知の事実ですが、二十世紀の始めまで誰れも気付きませんでした。そのため、十九世紀末に一部の人間によって指摘された、光線のクル病に対する治療効果も「まゆつばもの」とされ、当時の権威ある医学者は認めようとしませんでした。しかし、認めなかった人も、屋外光線を浴びれば、体内でビタミンDは作られていたのです。大切なことは光線の理論でなく、実際に光線を照射することなのです。



サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従って、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くしてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)七九三-五二八-
七二二-五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)